資料２

令和２年度（２０２０年度）

熊本県公私立高等学校連絡協議会

＜協議事項（３）関係＞

教育庁県立学校教育局高校教育課

総務部総務私学局私学振興課

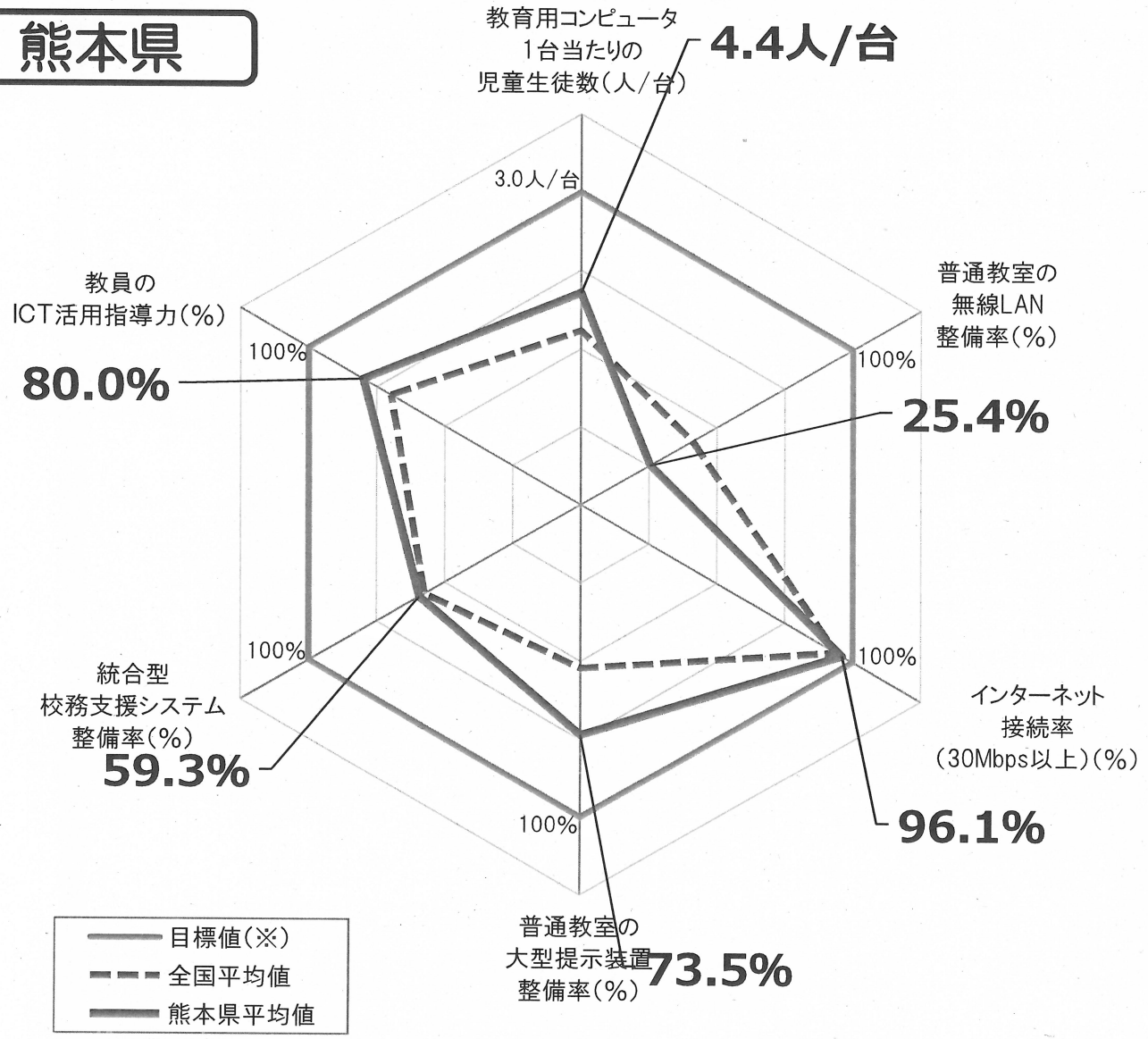
目　　次

１　県立高等学校におけるＩＣＴの活用について・・・・・１

２　私立高等学校におけるＩＣＴの活用について・・・・１５

教育の情報化の実態に係る主な指標（概要）

熊本県



指標（全学校種）	熊本県 平均値	全国平均値
教育用コンピュータ 1台当たりの児童生徒数	4.4人／台	5.4人／台
普通教室の 無線LAN整備率	25.4%	41.0%
インターネット接続率 （30Mbps以上）	96.1%	93.9%
普通教室の 大型提示装置整備率	73.5%	52.2%
統合型校務支援 システム整備率	59.3%	57.5%
教員のICT活用指導力	80.0%	69.7%

※ 「全学校種」とは、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校のことをいう。

※ 「大型提示装置」とは、プロジェクタ、デジタルテレビ、電子黒板のことをいう。

※ 上記グラフの目標値は、第3期教育振興基本計画（2018～2022年度）における目標値（「学習者用コンピュータ3クラスに1クラス分程度【授業展開に応じて必要な時に「1人1台環境」を可能とする環境の実現】（1日1コマ分程度を当面の目安）」「普通教室の無線LAN整備率100%」「超高速インターネット接続率（30Mbps以上）100%」「普通教室の電子黒板整備率100%」「統合型校務支援システム整備率100%」「教員のICT活用指導力100%」）。

Ⅲ-④ 県立学校のＩＣＴ環境の整備

【新型コロナウイルス感染症への対応】

新

40百万円（一般財源 －）［債務負担行為 15.2億円］

熊本県教育情報化推進事業［教育政策課］

障がいのある児童生徒のためのICT活用環境整備事業［特別支援教育課］

○ 新学習指導要領では、情報活用能力が全ての学習基盤と位置づけられており、ＩＣＴ環境の整備は喫緊の課題

○ 令和２年度から、先行実践校（3校に1校）に1人1台端末を整備し、生徒1人1人の習熟度に応じて個別最適化された「学び」を提供

＜現状・課題＞

国の動向

「未来投資戦略2019」【R元.6月の閣議決定】
児童生徒1人1人がそれぞれパソコンを持ち、十分に活用できる環境を実現

「統合イノベーション戦略2019」【R元.6月の閣議決定】
「パソコン１人１台環境」や「全学校での高速ネットワーク環境」を実現

本県の現状

- ✓ **新学習指導要領において、情報活用能力が全ての学習基盤と位置づけられ、早急なＩＣＴ環境整備が必要**
- ✓ **新型コロナウイルスの感染拡大等により、非常時における生徒の学習機会の損失が懸念される**
- ✓ **従って、県立学校におけるＩＣＴ環境の整備を推進する必要**

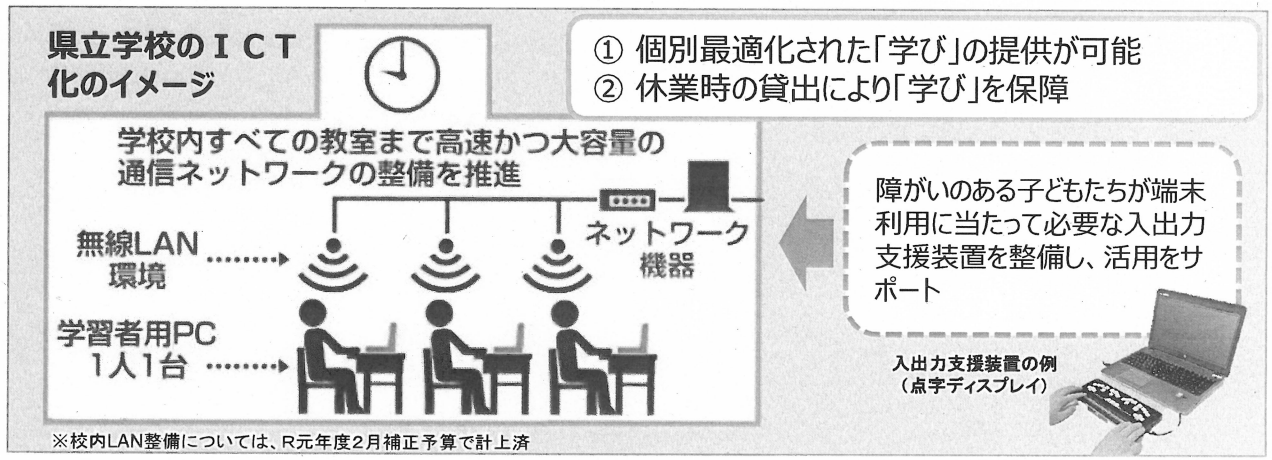
＜事業概要＞

①県立学校のうち先行実践校(15校)に、「1人1台端末」を導入（※義務教育課程には全校導入）
②先行実践校に周辺機器を導入（※義務教育課程には全校導入）
③併せて、障がいのある生徒へのサポートとして、端末利用に必要な入出力支援装置を導入

○全体事業費：40百万円
（①12百万円、②16百万円、③13百万円）
○負担割合（①・②県 コロナ臨時交付金 **、③国）**
○事業主体：県
○事業期間：令和2年度～

債務負担行為の設定	事項	期間	限度額（百万円）
	先行実践校（高校生）端末リース	R3～7	452
	義務教育生徒用端末リース	R3～7	56
	教師用端末リース 電子黒板等リース	R3～7	787
	ICT支援員等	R3	46
	回線費等	R3～7	175
	計		1,516

＜イメージ図＞



県立高等学校・中学校における臨時休業期間の長期化を見据えた学習支援に関する基本方針

基本方針

高校教育課

臨時休業期間において、各学校は教育課程に基づいて教科等の授業計画を再構築し、計画的な学習支援を講じるとともに、学習状況や成果等を把握し、学習評価を行う。

今後の臨時休業期間中の学びは、新たなフェーズへ

フェーズ1　（3月、4月）
学年の橋渡し期

学びなおしや新たな学びに向けた学習

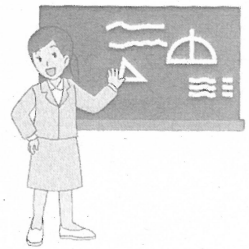
■　生徒は、教科書等の教材、課題、県教委作成動画やテレビ講座などによる学習を行う

■　生徒の学習状況や成果等の把握は、登校日を中心に行う



フェーズ2　（5月～）
当該学年の新たな学び

生徒は授業計画と時間割に沿って、毎日計画的に学習する。教師は学習状況や成果等を把握し、学習評価を行う。



■　生徒は
　①　教科書等の教材や課題による学習を行う
　②　県教委作成の動画、学校作成の動画やテレビ講座などによる学習を行う

■　生徒の学習状況や成果等の把握は
　①　登校日に行う
　②　ＩＣＴを活用して行う

■　授業計画に基づいた学習評価を行う



臨時休業期間中の主な学習支援

プリントや問題集等による課題、学習に関する県教委等のサイトやテレビ講座等を活用した学習支援は引き続き取り組んでいきます。

臨時休業期間中の授業計画及び時間割を提示します

・県教委は、臨時休業に対応した授業計画及び時間割のモデルを各学校に提供します。
・学校は、自校に応じた授業計画及び時間割を作成し、生徒や保護者に提示します。
・生徒は、自宅で学校が提示した授業計画及び時間割に沿って、より計画的かつ継続的に学習に取り組みます。

県教委作成の解説等の動画（県立教育センターやスーパーティーチャー）や各学校が作成した解説等の動画を活用します

・県教委は、教育センターやスーパーティーチャーによる解説等の動画を配信します。
・学校は、自校の学習内容に応じた解説等の動画を作成するなど、工夫した学習支援に取り組みます。
・生徒は、教科書や課題等の学習に取り組むとともに、動画等を活用しながら、理解を深めます。

登校日やＩＣＴを活用して、学習状況や成果等を把握していきます

・県教委は、新たにＩＣＴを活用した生徒の学習状況や成果等の把握に関するモデルを各学校に提供します。
・学校は、生徒の学習状況や、課題、レポート、小テストなどの成果等を登校日やＩＣＴを活用して把握していきます。

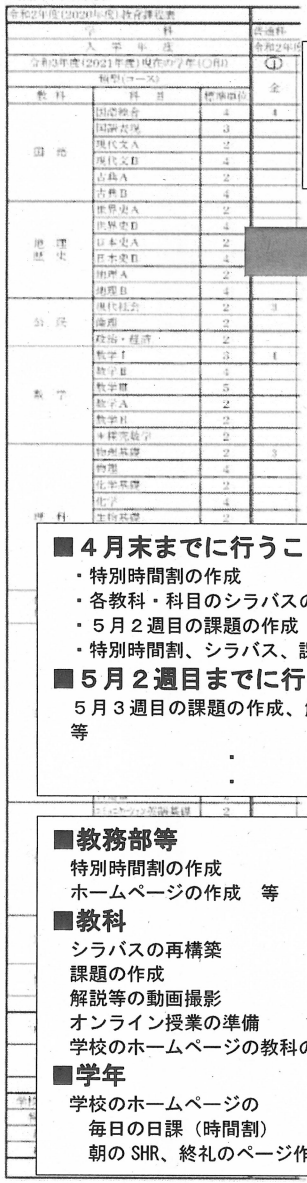
家庭での学習状況や成果等で学習評価を行います

・県教委は、臨時休業に対応した学習評価のモデルを各学校に提供します。
・学校は、学習評価を計画的に行っていきます。

基本方針に基づいた例　【該当月（５月）の指導計画の立案イメージ】

教育課程表（令和２年度）

南熊本高等学校



教務部等で、該当月（例：５月）の特別時間割を編成する　※資料１参照



① **特別時間割のコマ入れをする。**
この例では約３週あるので、
国語総合４単位×３週＝１２コマ
物理基礎３単位×３週≒８コマ

② **特別時間割のコマ数に合わせて、各教科のシラバスを再構築する。**
※シラバスには課題、解説等の動画配信、オンライン授業等を取り入れ、評価規準を盛り込む

③ **特別時間割に授業の概要や担当者を入れる。**

各教科で、該当月（例：５月）の課題、解説等の動画配信、オンライン授業等を取り入れ、評価規準を盛り込んだシラバスを再構築する　※資料２参照

南熊本高等学校　１学年「物理基礎」シラバス（５月分）

（１）速度（２）加速度

２．この目標	３．評価規準
【知識・技能】 ・物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・速度と時間の関係を理解する。 ・直線運動する場合の加速度を理解する。 【思考力，判断力，表現力等】 ・速度、加速度の関係性を表現する。 【学びに向かう力，人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組をふり返る。	【知識・技能】 ①直線運動における物体の運動の表し方を理解できる。 ②速度と時間の関係を理解できる。 ③直線運動の加速度を理解できる。 【思考・判断・表現】 ④速度、加速度の関係性を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

４．授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第１回	速さと速度	1	・ＮＨＫ高校講座「第２回～速さと速度～」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書Ｐ6～11 を読む。	Forms による確認テスト	①
		2	・教科書問１～７を解く。	Forms による取組の振り返りアンケート	⑤
第２回	等速直線運動	3	・教科担任作成の動画視聴。 ・教科書Ｐ12～14 を読む。	Forms による確認テスト	②
		4	・問題集Ｐ３～４例題を解く。 ・オンラインによる質問受付。	Forms による取組の振り返りアンケート	⑤
第３回	加速度	5	・オンライン授業による解説。 ・教科書Ｐ15～16 を読む。	Forms による確認テスト	③
		6	・教科書Ｐ１０の実験をする。	結果のグラフを写真に撮る（メール添付提出）	④
第４回	等加速度直線運動	7 8	・教科書Ｐ17～18 を読む。 ・身の回りの等加速度直線運動の例を探し、レポート作成	レポート（学習プラットフォーム or 郵送で提出） Forms による取組の振り返りアンケート	① ⑤

■４月末までに行うこと

- 特別時間割の作成
- 各教科・科目のシラバスの作成
- ５月２週目の課題の作成
- 特別時間割、シラバス、課題を生徒へ提示。

■５月２週目までに行うこと

５月３週目の課題の作成、解説等の動画撮影等

・
・

■教務部等

特別時間割の作成
ホームページの作成　等

■教科

シラバスの再構築
課題の作成
解説等の動画撮影
オンライン授業の準備
学校のホームページの教科のページ作成　等

■学年

学校のホームページの
毎日の日課（時間割）
朝の SHR、終礼のページ作成　等

※ 特別時間割の作成とすべての教科・科目のシラバスの再構築は４月末までに完了し、事前に全生徒に登校日に配付するもしくはホームページに公開するなど周知しておく必要がある。

例　南熊本高等学校　第１学年　５月３週目時間割

5月の目標	自ら学ぶ習慣は一生の財産！見通しを持ち、自ら考え、時間を意識して学びの質を高めよう。

5月			8:40	8:50 ～9:40	9:50 ～10:40	10:50 ～11:40	11:50 ～12:40	12:40 ～13:20	13:20 ～14:10	14:20 ～15:10	15:10	20:00 ～22:00	23:00
			SHR	1限目	2限目	3限目	4限目	昼食	5限目	6限目	終礼	自学	就寝
11	月	8：40になったら、学校のホームページにアクセス！ 1学年のページを開いて、 ・連絡事項の確認、 ・健康チェック、 ・昨日の家庭学習チェックに取り組みましょう！	SHR	社会と情報	社会と情報	体育	体育	昼食	国語総合	国語総合	終礼 1学年のページを開いて、明日の連絡事項の確認、今日の授業への取組チェックに取り組みましょう！ 担任への質問や相談があれば、質問・相談フォームに入力して送信してください。	2時間の家庭学習（自学）に取り組みましょう！ ※今日の復習を必ず取り組む	規則正しい生活を送りましょう！ 明日も頑張りましょう！
				情報とメディア		体つくり運動（くまもと元気アップ体操　体つくり編）			古典の基本				
				テレビ講座、教科書	プリント、確認テスト	教育センター動画	プリント		教育センター動画、教科書	プリント、確認テスト			
				講座をみたら、プリント、確認テストに取り組もう！		しっかり、体を動かそう！			質問があればHPの入力フォームへ				
12	火		SHR	数学Ⅰ	数学Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	昼食	現代社会	現代社会	終礼		
				整式		身の回りのことを説明しよう			地球環境と資源・エネルギー問題				
				ｽｰﾊﾟｰﾃｨｰﾁｬｰ動画、教科書	プリント、確認テスト	教育センター動画、教科書	プレゼン資料作成		テレビ講座、教科書	プリント、確認テスト			
				動画で内容確認、プリントで演習		プレゼン資料の作り方はプリントで確認			確認テストで間違ったところはその日のうちに復習				
13	水		SHR	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	昼食	保健	保健	終礼		
				好きな人物の歴史を伝えよう		オリエンテーション	研究テーマ設定		生活習慣病とその予防				
				テレビ講座、教科書	プレゼン資料作成	独自動画、プリント	プリント		テレビ講座、教科書	プリント、確認テスト			
				作成したプレゼン資料は写真に撮ってHPへ投稿		研究テーマ設定の際はインターネット等も活用			講座をみたら、プリント、確認テストに取り組もう！				
14	木		SHR	数学Ⅰ	数学Ⅰ	国語総合	国語総合	昼食	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	終礼		
				整式の加法と減法		古文・説話			過去にしたことを伝えよう				
				独自動画、教科書	プリント、確認テスト	ｽｰﾊﾟｰﾃｨｰﾁｬｰ動画、教科書	プリント、確認テスト		独自動画、教科書	日記作成、確認テスト			
				確認テストで間違ったところはその日のうちに復習		動画を見て、古文に慣れよう			質問があればHPの入力フォームへ				
15	金		SHR	物理基礎	物理基礎	現代社会	現代社会	昼食	国語総合	国語総合	終礼		
				加速度		科学技術の発達と生命			漢文・訓読				
				独自動画で実験解説	家庭で計測	独自動画、教科書	プリント、確認テスト		ｽｰﾊﾟｰﾃｨｰﾁｬｰ動画、教科書	プリント、確認テスト			
				計測した結果をHPへ投稿		学んだ内容以外にも気になることがあれば、ネット等で調べよう			確認テストで間違ったところはその日のうちに復習				
16	土	土曜日	不要不急の外出を避け、規則正しい生活を心がけましょう。 学習の振り返りや読書、運動など計画的に休日を過ごしましょう。										
17	日	日曜日											

資料１

県教育委員会作成の解説等の動画　例
（県立教育センターやスーパーティーチャー）

熊本県立教育センター

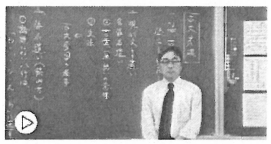
高校に入学されたみなさんへ

国語

高校に入学されたみなさんへ



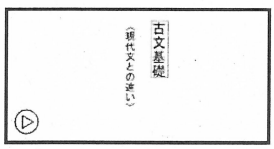
古文の基礎・基本



漢文の学習について



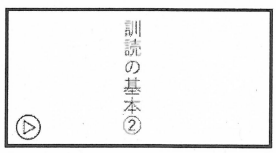
古典文法



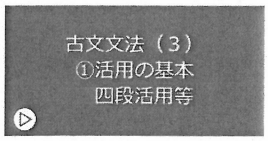
訓読の基本１



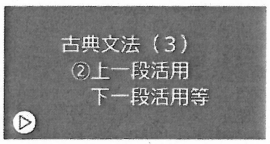
訓読の基本２



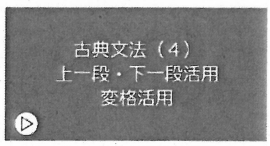
古文文法３



古文文法４



古文文法4

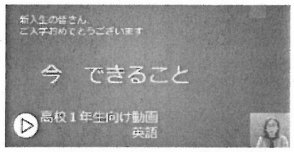


※スマートフォンによる視聴の際の画面表示例

熊本県立教育センター

英語

高校に入学されたみなさんへ



品詞の種類



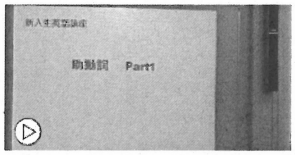
動詞と文型1



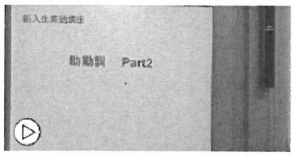
動詞と文型2



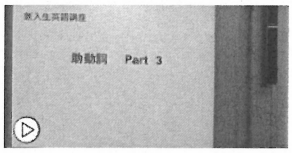
助動詞1



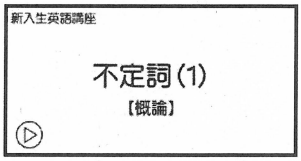
助動詞2



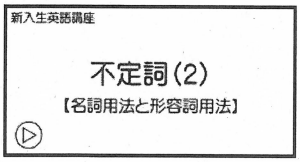
助動詞3



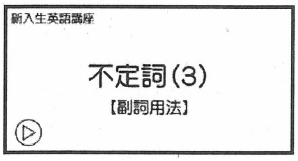
不定詞1



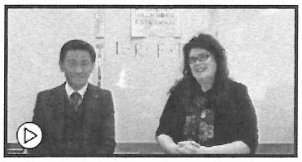
不定詞2



不定詞3



子音と母音



時制1



※スマートフォンによる視聴の際の画面表示例

ICT を活用した生徒の学習状況や成果等を把握するモデル

資料２

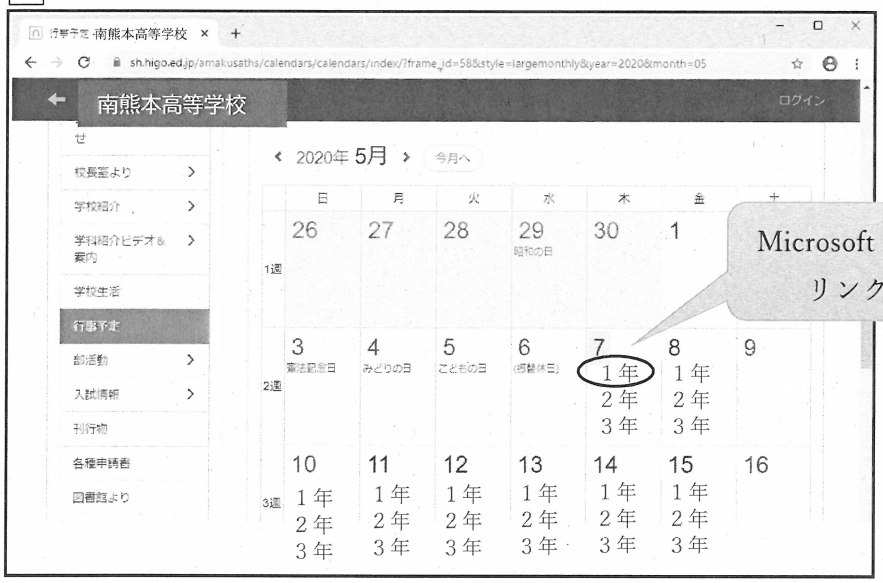
ICT を活用した具体例（学校ホームページと Forms の組み合わせ）

南熊本高等学校　１年２組　肥後太郎さんの１日

1　学校ホームページ内の※特設ページ（非公開）に入る。

※ＱＲコード等をメールや郵送で配付し、外部の人が閲覧できないように配慮する。

2　本日の自分の学年をクリック



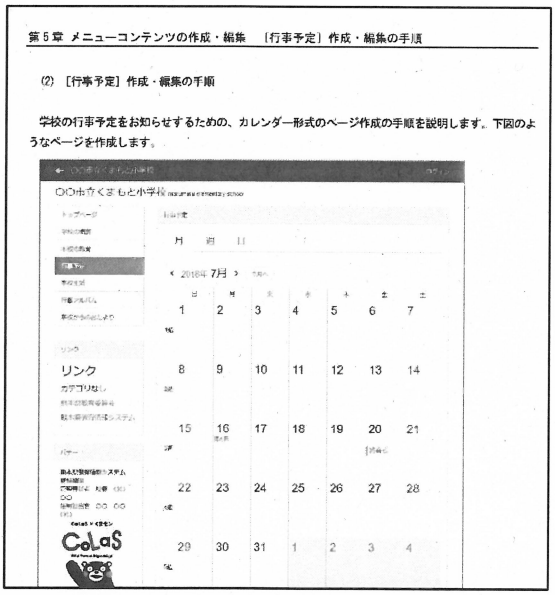
※特設ページ（非公開）の作り方

学校 CMS 管理者用［作成編］マニュアルより



※カレンダーの作り方

マニュアルより

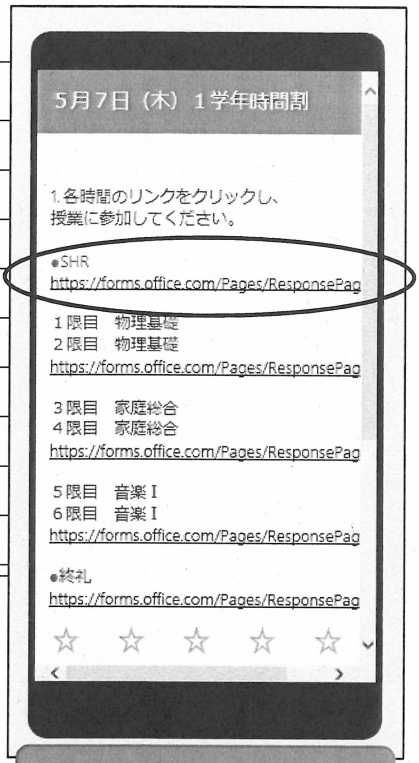


3　最初は、朝のＳＨＲをクリック

５月７日（木）１年生

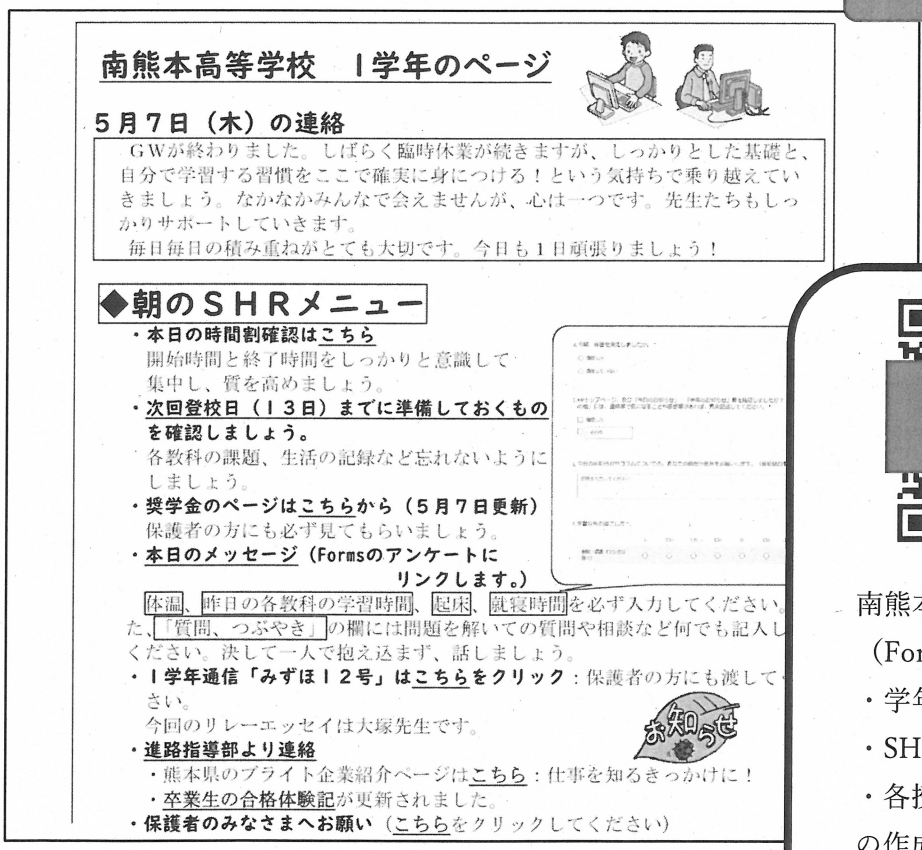
	時間	授　業　科　目
		ＳＨＲ
１限目		物理基礎
２限目		物理基礎
３限目		家庭総合
４限目		家庭総合
５限目		音楽Ⅰ
６限目		音楽Ⅰ
		終礼

ホームページの作成例



Forms の作成例

4　ＳＨＲを受ける。



南熊本高等学校　１学年のページ

５月７日（木）の連絡

ＧＷが終わりました。しばらく臨時休業が続きますが、しっかりとした基礎と、自分で学習する習慣をここで確実に身につける！という気持ちで乗り越えていきましょう。なかなかみんなで会えませんが、心は一つです。先生たちもしっかりサポートしていきます。
毎日毎日の積み重ねがとても大切です。今日も１日頑張りましょう！

◆朝のＳＨＲメニュー

- **本日の時間割確認はこちら**
  開始時間と終了時間をしっかりと意識して集中し、質を高めましょう。
- **次回登校日（１３日）までに準備しておくものを確認しましょう。**
  各教科の課題、生活の記録など忘れないようにしましょう。
- **奨学金のページはこちらから（５月７日更新）**
  保護者の方にも必ず見てもらいましょう。
- **本日のメッセージ**（Formsのアンケートにリンクします。）

体温、昨日の各教科の学習時間、起床、就寝時間を必ず入力してください。また、「質問、つぶやき」の欄には問題を解いての質問や相談など何でも記入してください。決して一人で抱え込まず、話しましょう。

- **１学年通信「みずほ１２号」はこちらをクリック**：保護者の方にも渡してください。
  今回のリレーエッセイは大塚先生です。
- **進路指導部より連絡**
  - 熊本県のブライト企業紹介ページはこちら：仕事を知るきっかけに！
  - 卒業生の合格体験記が更新されました。
- **保護者のみなさまへお願い**（こちらをクリックしてください）

お知らせ

QRコード

南熊本高校ホームページ（Forms 作成分）です。

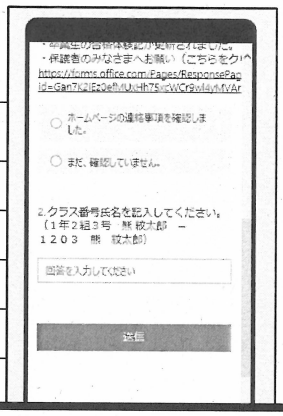
・学年時間割
・SHR
・各授業

の作成例がご覧になれます。

5　１限目　物理基礎をクリック

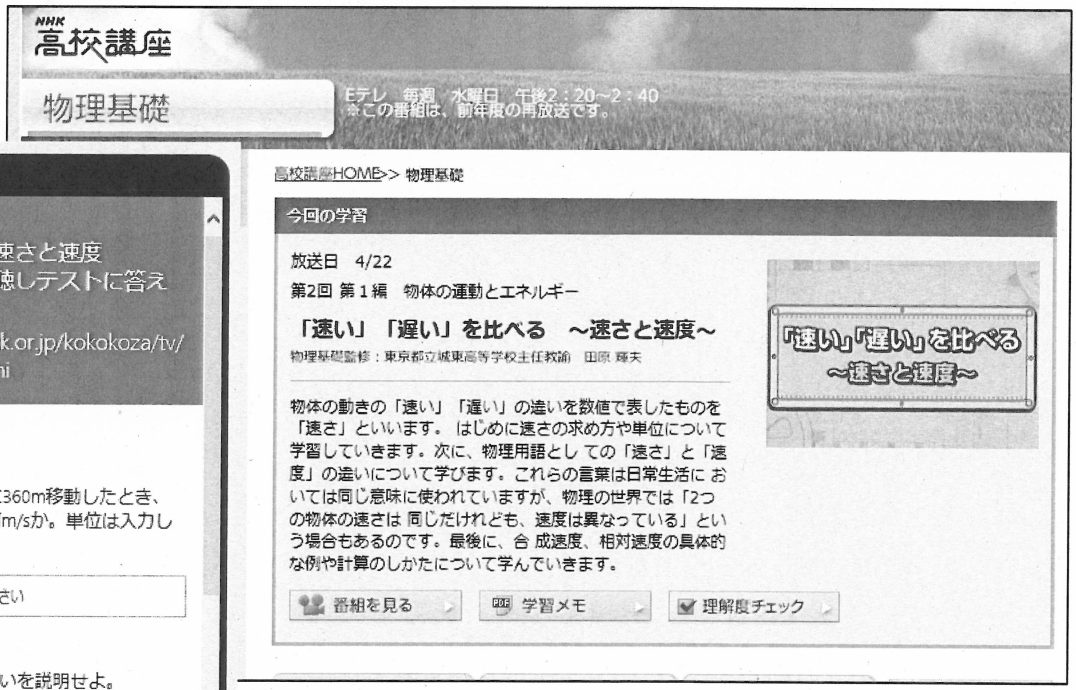
５月７日（木）１年生

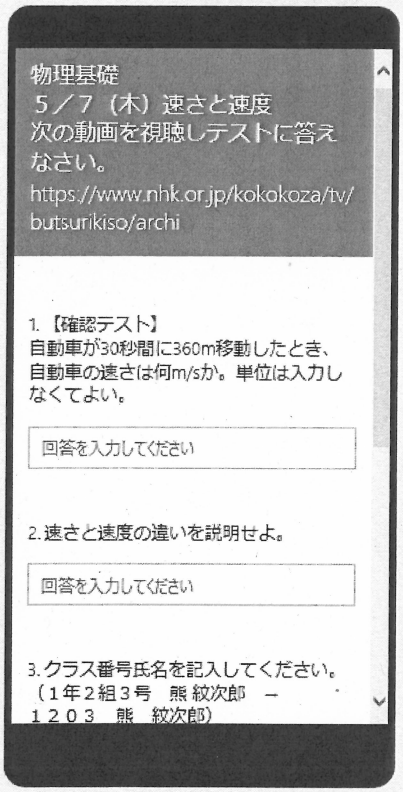
	時間	授　業　科　目
		ＳＨＲ
１限目		物理基礎
２限目		物理基礎
３限目		家庭総合
４限目		家庭総合
５限目		音楽Ⅰ
６限目		音楽Ⅰ
		終礼



Forms を組み合わせることで、生徒がホームページを閲覧したか否かの確認が可能です。

6　１限目　物理基礎を受ける





※以下、２限目以降も同様にして、終礼まで受け１日が終了する。

資料３

県立高等学校臨時休業期間中のＩＣＴ活用事例

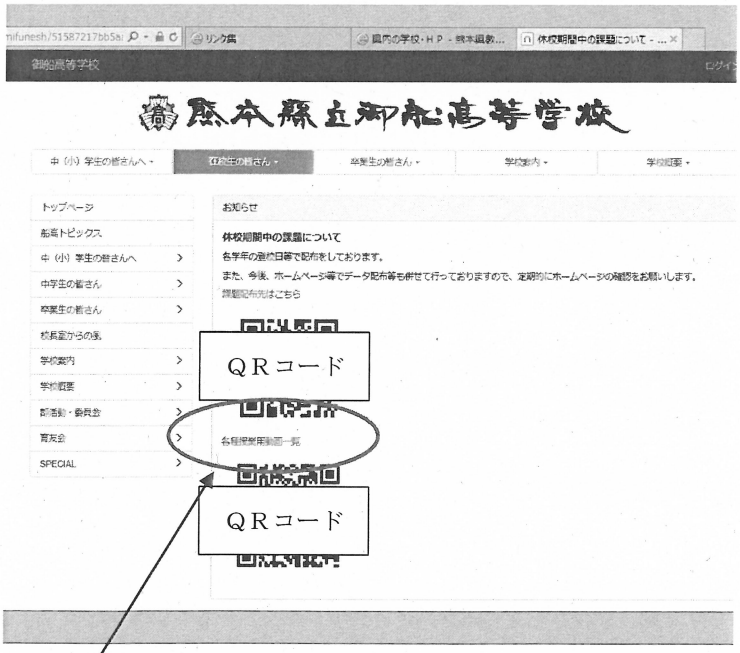
１　御船高等学校



トップページ

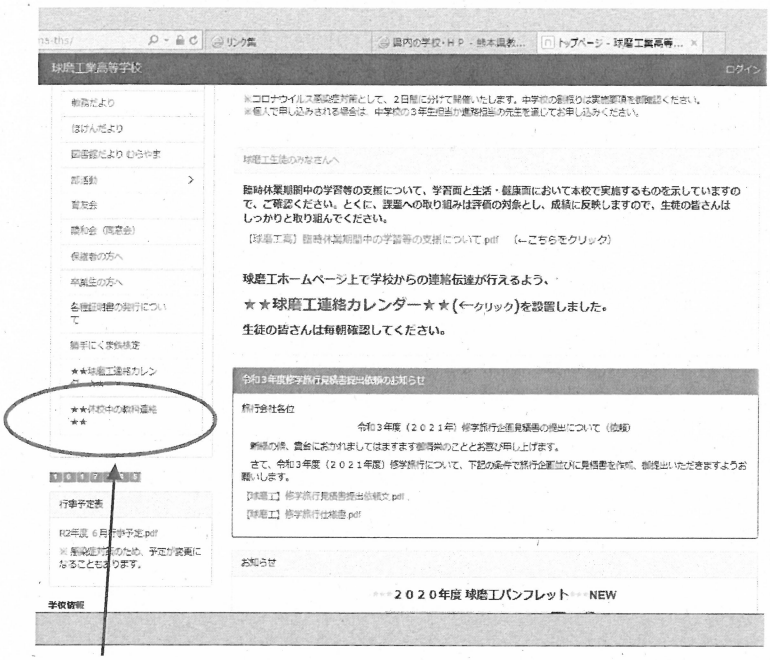
「休校期間中の臨時課題について

詳細はこちらから確認してください。」



各種授業用動画一覧

２　球磨工業高等学校



トップページ

左のメニュー一番下

休校中の教科連絡



２ページをクリックし

中ほど

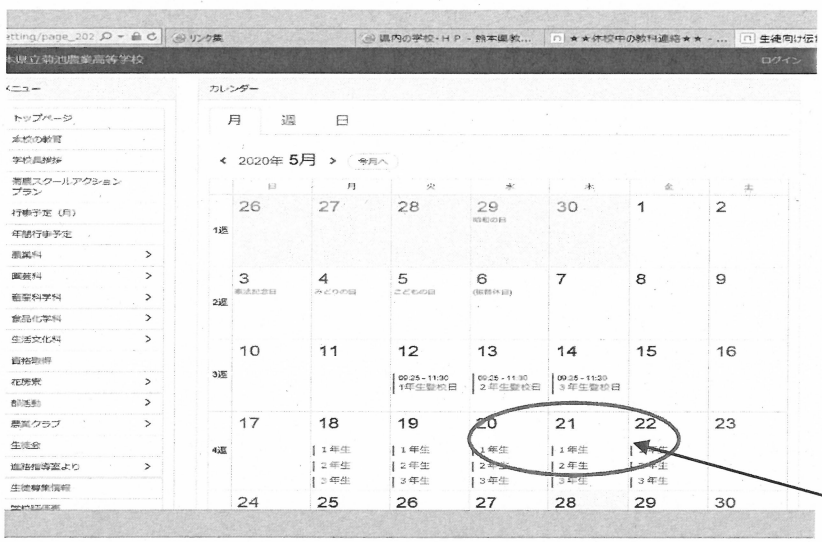
物理基礎　第１回「速さ」

「ＮＨＫ高校講座のリンクや、確認テスト、質問・気づきはコチラで↓」をクリック

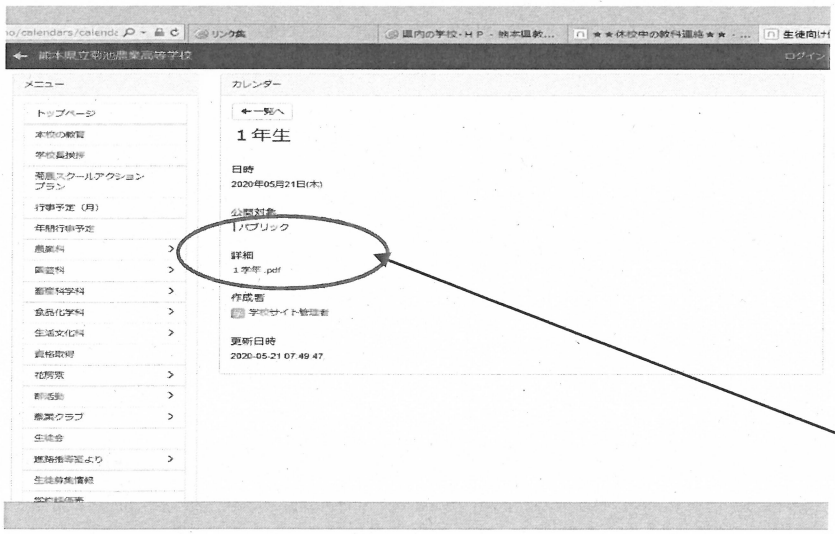
3　菊池農業高等学校



トップページ
「生徒向け伝言板カレンダー」



カレンダーの
5月21日1年生をクリック



「1年生.pdf」をクリック

私立高等学校におけるICTの活用について

令和２年（２０２０年）７月１６日
熊本県総務部総務私学局私学振興課

通常時の活用状況

【活用事例】
・タブレットやプロジェクタ、電子黒板を活用した授業の実施。
・デジタル教科書の導入。

【課題】
・生徒数に対して、ICT機器が不足している。
・プロジェクタや電子黒板を、授業のたびに持ち運ぶ必要があり、設置に時間がかかる。
・通信障害により、授業がストップすることがある。

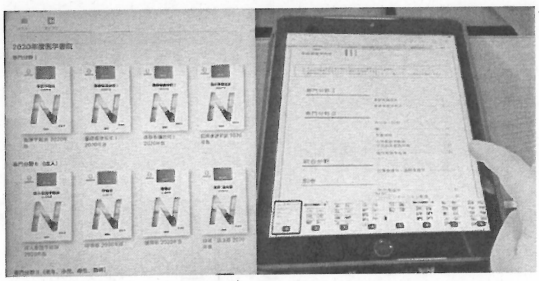
臨時休校時の活用状況

【活用事例】
・学習アプリを活用し、生徒に課題を送付、アプリ上で添削まで行った。
・Zoomの活用により、オンライン授業を実施した。
・健康調査や学習状況の確認にGoogle フォームを利用した。

【課題】
・インターネット環境が整っていない家庭や、端末を持っていない生徒への対応が困難。
・教員間のICT活用スキルに差がある。

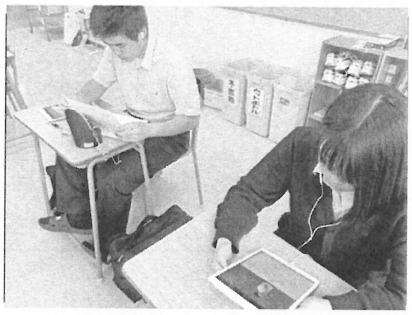
取り組み事例①

<u>○看護専攻科でデジタル教科書を導入（熊本中央）</u>



・文字だけでは理解しにくい所を動画で確認することができる。
・検索機能で瞬時に調べることができ、学習効率が上がった。
・数十冊あった教科書が端末1台に収められ、持ち運びが容易。
・ペーパーレス会議システムを利用することで、講義に必要な資料の印刷費用や手間が省ける（専門的内容のため毎回資料が多い）。

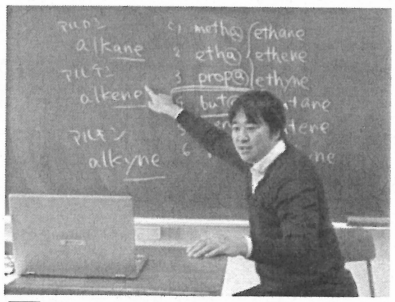
取り組み事例②



○特進クラスにおけるオンライン学習サービスの活用（城北）

・特進クラスにおいて、１人１台タブレットを導入し、オンライン学習サービス（スタディサプリ）を利用している。
・通常授業とは別に、苦手分野の対策として受講でき、生徒と教員で情報共有が可能なため、より細やかな学習指導ができる。
・特進クラス以外についても、１人１台タブレットの導入を目指す。

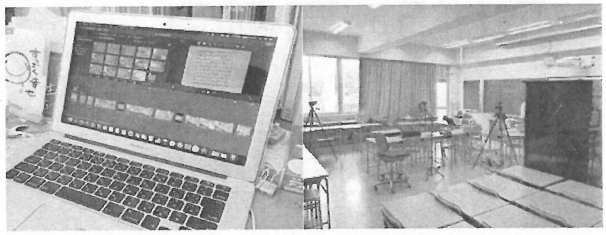
取り組み事例③



○通常時間割をオンライン授業で実施（真和）

・休校中も生徒の学びを継続。
・教室で授業を行う場合とは違う工夫が必要。
（板書の文字が見えにくい、黒板に書きながら話すと声が聞こえないなどの問題あり。）
・ネットワーク環境が整っていない家庭は個別に対応する必要がある。
・課題共有と教員のスキルアップを目的に、遠隔授業対策委員会を立ち上げた。

取り組み事例④



○授業用動画の配信
（熊本学園大学付属）

・授業用の動画や資料を動画共有サイト（vimeo）に掲載（約1,000本）。4～5月の授業内容を時間割に沿って、1本3～30分程度で動画を作成。
・休校中も授業を進めることができ、教員のICTスキルも向上。
・反転授業（自宅で学習・学校で演習）への活用が可能。
・生徒個人のスマートフォンによる閲覧だったため、見づらい。

今後のICT活用に係る取組

・ICT機器の更なる導入
（電子黒板やプロジェクタの設置、校内無線LANの整備、
生徒及び教員用のタブレットの購入）
・不登校の生徒に対する活用
・教員のICT実践力アップのための講習会実施
・海外の高校生等との国際交流